

## 第2回 五福谷川遊砂地に係る 「ワークショップ」を開催します。

～ 地域住民と一体となった魅力ある遊砂地の整備を目指して ～

- ◆ 日時・場所：**令和3年12月20日(月)**
  - ・現地視察 13:30 ～ 14:00 (岩下橋集合:五福谷川遊砂地予定地)
  - ・ワークショップ 14:30 ～ 16:00 (丸森まちづくりセンター2階研修室・視聴覚室)
- ◆ 主な内容： 現地視察、第1回の振り返り、とりまとめ方針整理 等

### 【ワークショップの開催目的】

- 阿武隈川水系内川流域では、令和元年東日本台風において、土砂・洪水氾濫等により甚大な被害をもたらし、国の直轄事業(特定緊急砂防事業)により、短期的、集中的に砂防施設整備を令和2年度から実施しております。
- 中でも被害の大きかった五福谷地区では、県内最大規模となる「遊砂地」の整備計画があり、現在は施設設計を進めています。
- 当該地区では天皇皇后両陛下が被災地見舞いに訪れた場所でもあり、当時の被災を後生に伝承する上でも五福谷川遊砂地は東日本台風の象徴的な施設の一つになるものと考えます。
- そこで、遊砂地整備後も当該地区周辺に住む住民の方々を対象に、新たなコミュニティ形成のきっかけや観光資源、防災教育の充実といった平常時の利活用について、広く意見を頂くこととしました。
- 本ワークショップを通じ、魅力あるまちづくりや地域防災力の向上、砂防事業に対する相互理解に繋がることが期待されます。

### 【構成メンバー】

- <主催> 東北地方整備局 宮城南部復興事務所
- <共催> 丸森町
- <参加者> 五福谷地区住民代表 4名、五福谷・中通地区 区長2名、民生委員 2名 計8名
- <アドバイザー> 東北大学 災害科学国際研究所 准教授 柴山明寛  
(丸森町復興推進委員会 副委員長)
- <オブザーバー> 宮城県
- <ファシリテーター> 日本工営(株) (五福谷川遊砂地設計受託業者)

### 【開催概要等の詳細】

- ・別添1:資料をご参照ください。(令和3年11月12日\_記者発表資料)

### 【その他】

- ・ワークショップの開催概要は、以下URL にも随時掲載していきます。  
<http://www.thr.mlit.go.jp/nanbufukkou/work02/index.html> (トップページ→砂防関連事業)

### 【ワークショップ等の公開について】

1. 「ワークショップ」はマスコミ関係者のみ公開としており、一般の方の聴講は受付しておりません。
2. カメラ取りは「現地視察」及び「ワークショップの冒頭 頭取り」のみとさせていただきます。  
天候等により現地視察を中止する場合があります。(小雨決行)
3. 取材を希望される報道関係者の方は、[別添2]により、お申し込みください。
4. 新型コロナウイルス感染防止対策(検温、手指の消毒、マスクの着用等)にご協力をお願いします。

発表記者会: 白石記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 宮城南部復興事務所  
宮城県伊具郡丸森町字除北20番地  
電話:0224-51-8290(代表)



副所長(技術) さいとう たくみ 齋藤 巧 (内線204)  
建設専門官 まつだ こういち 松田 宏一 (内線401)

- 令和3年11月8日（月）丸森まちづくりセンターにおいて、「五福谷地区遊砂地整備に係るワークショップ」を宮城南部復興事務所の主催により行いました。
- このワークショップは、今後整備予定の五福谷川遊砂地において、主に平常時の利活用や維持管理を主眼に、住民代表者からご意見を伺い、地域と一体となった魅力ある遊砂地の整備を目指すことを目的としたものです。
- 今回、第1回目となるワークショップでは、「遊砂地でしたいこと、あると良いものについて」をテーマに、参加者からは活発な意見交換が行われました。

＜第1回ワークショップ参加メンバー＞

・住民代表者：民生委員等 6名 ・ファシリテーター：日本工営（株） ・アドバイザー：東北大 柴山准教授 ・オブザーバー：宮城県

【ワークショップの開催計画】

＜第1回＞

- ・令和3年11月8日（月）
- ・テーマ：  
遊砂地でしたいこと、あると良いものについて

＜第2回＞

- ・令和3年12月中
- ・テーマ：  
現地視察、第1回の振り返りととりまとめ方針整理について

＜第3回＞

- ・令和3年2月中
- ・テーマ：  
提言書に向けた最終確認について

＜提言書の策定＞  
丸森町へ提言書を手交

第1回テーマ：遊砂地でしたいこと、あると良いものについて

参加された皆さまからいただいた主なご意見

凡例 ■ 提案やアイデア等 ■ 心配なことや懸念事項等

■防災について ■観光振興について ■地域の憩いについて

遊砂地としての効果を最大限発揮できるようにしてほしい	地域のシンボルとして桜やモミジなどを植樹するのいいと思う	グラウンドゴルフ場や東屋、遊歩道などがあると良い
たまった土砂の撤去など維持管理をしっかりしてほしい	天皇陛下行幸の地として記念碑を設置してはどうか	子供の遊び場所が欲しい
防災教育の拠点となると良い	防災と観光の両立	多世代の憩いの場所となるとよい
地域防災力の向上に取り組みたい	駐車場などができるとごみや騒音が問題となるのではないが	対岸の神社に行きにくくなるのが不安



▲ワークショップの様子（写真1）

東北大学・柴山准教授の講評

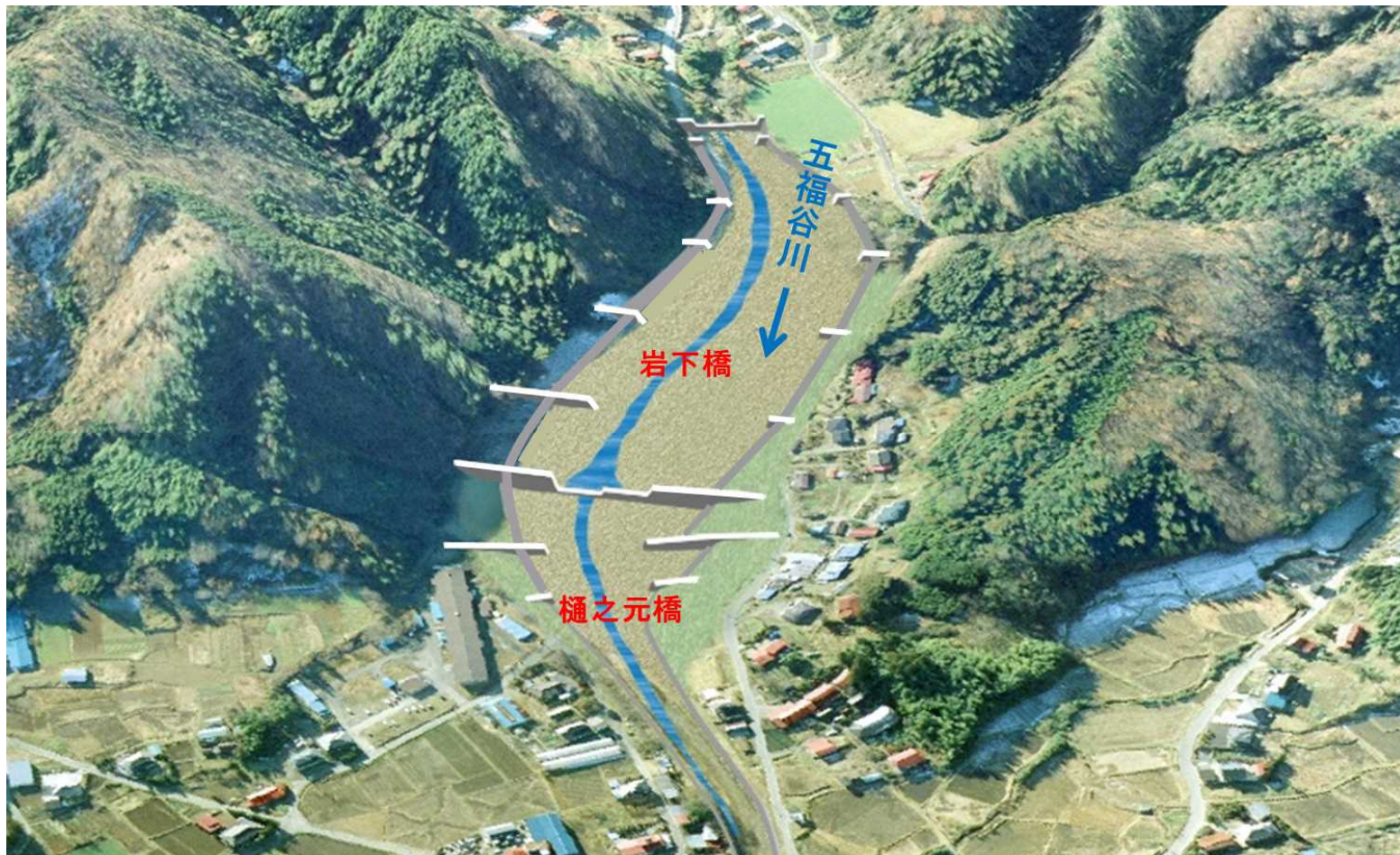
- 防災観光という考え方は非常にいい意見だと思う。
- 維持管理や集客についてはより議論が必要である。
- 遊砂地内にかつて集落があったことを示す石碑を設置してはどうか。
- 次回以降も積極的にご意見をいただければと思う。



東北大学  
災害科学国際研究所  
柴山明寛 准教授  
（写真2）

＜参考資料＞ 五福谷川遊砂地のイメージ図

※イメージ図の内容は設計の進捗に応じて変更となります。



## 〔取材要領〕

### 1. 事前申し込みについて

取材を希望される方は、下記〔メール記載事項〕を記入の上、「[申込先のメールアドレス](#)」へ送信願います。

**申込先：** [thr-miyaginabu-mi@mlit.go.jp](mailto:thr-miyaginabu-mi@mlit.go.jp)

**申込期限：** 12月17日(金) 12:00

(スムーズな運営のため、御理解と御協力をお願いいたします。)

〔メール記載事項：本文に直接記載いただくことも可能です。〕

メール件名：211220 ワークショップ

松田 あて

下記のとおり12月20日の取材を申し込みます。

- 1) 取材内容 (現地視察、ワークショップの別を記載)
- 2) 所属記者会名 (宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会 等)
- 3) 取材者 (代表者) の会社・部署名・役職・氏名・連絡先  
(連絡先 (携帯番号等) は必ず、記載してください)
- 4) 取材者の人数 (カメラマン、音声担当等も含めた総人数)

上記事項は、日程の変更などのお知らせや、取材スペースの確保に必要な情報となりますので、記入漏れの無いよう御協力をお願いいたします。

### 2. 取材当日について

〇丸森まちづくりセンター〔別添3〕にて受付をお願いいたします。

・ 受付時間〔現地視察から取材〕 : 12:45～13:15

・ 受付時間〔ワークショップから取材〕 : 13:45～14:15

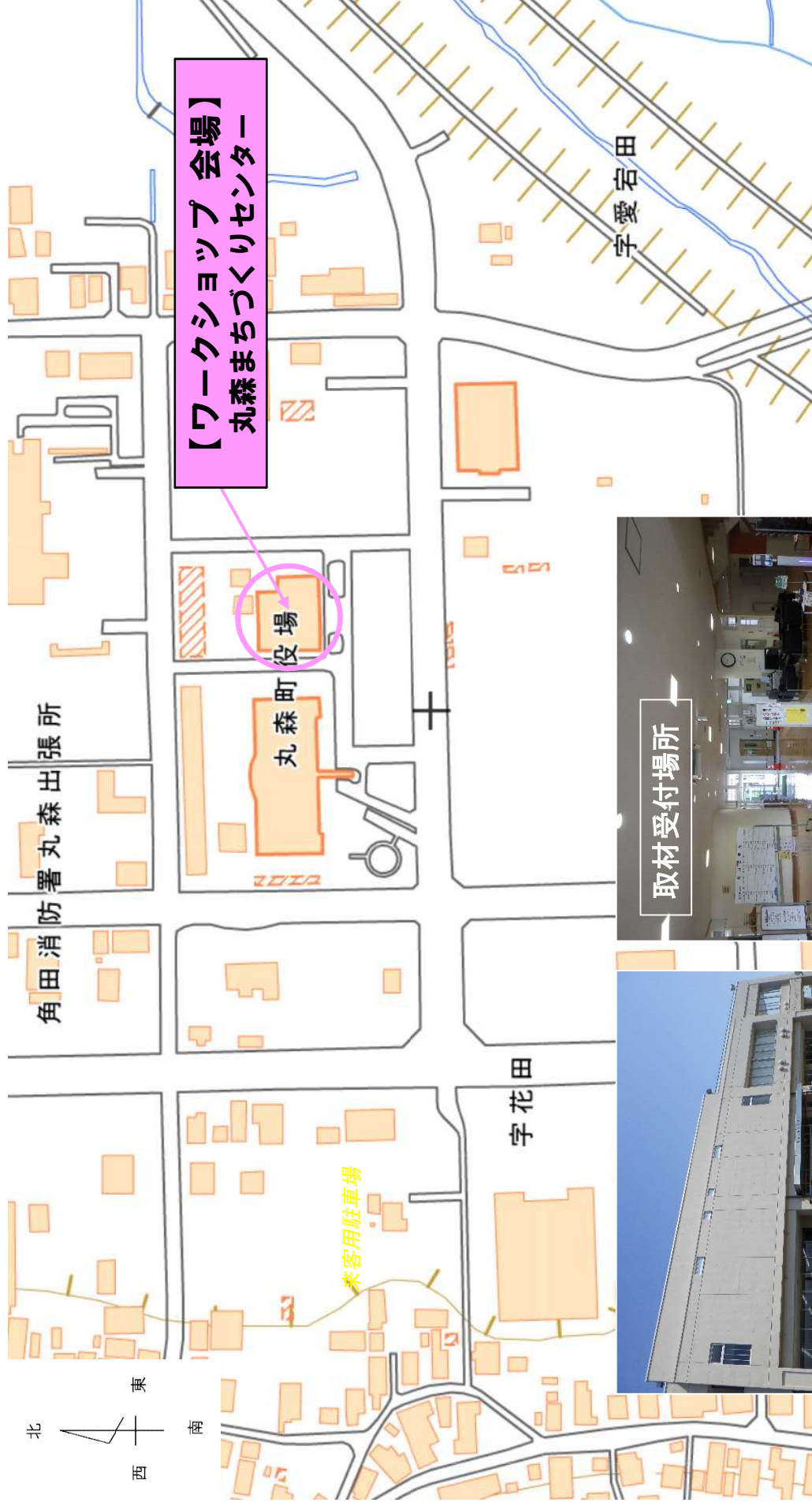
※ 現地視察を取材される方は「現地までの案内図(駐車場所)」を配布しますので、受付後は各自取材場所へ移動をお願いいたします。

(注意事項)

- ・ 取材にあたっては担当者の指示に従うようお願いいたします。
- ・ 新型コロナウイルス感染防止のため、体調の悪い方は、出席を控えてください。
- ・ 取材をされる方は、マスクの着用をお願いします。
- ・ 密集回避のため、最低限の人数による取材をお願いします。

# 丸森まちづくりセンター 【取材受付及びワークショップ会場】

〔別添3〕



▲ 丸森まちづくりセンター



▲ 取材受付(1F ロビー前)

〒981-2152 宮城県伊具郡丸森町字鳥屋120  
連絡先 TEL0224-72-1683

出展：地理院地図に所在地を追記して掲載